

加西アルプス



(ハイライトシーン)

※弥生班 計6名

[実施日--2026年02月10日(火)]

①(大手門登山口)



②(雪が残る-4℃の早朝)



③(笠松山をバックに)



④(善坊山)



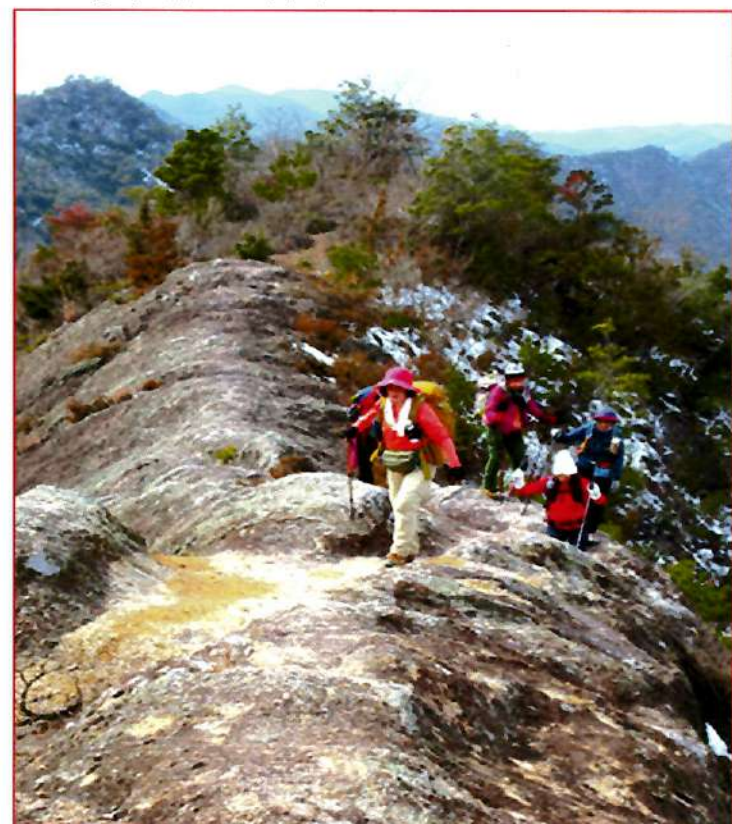
⑤(善坊山から笠松山をバックに)



⑥(吊橋と岩場)



⑧(馬の背)



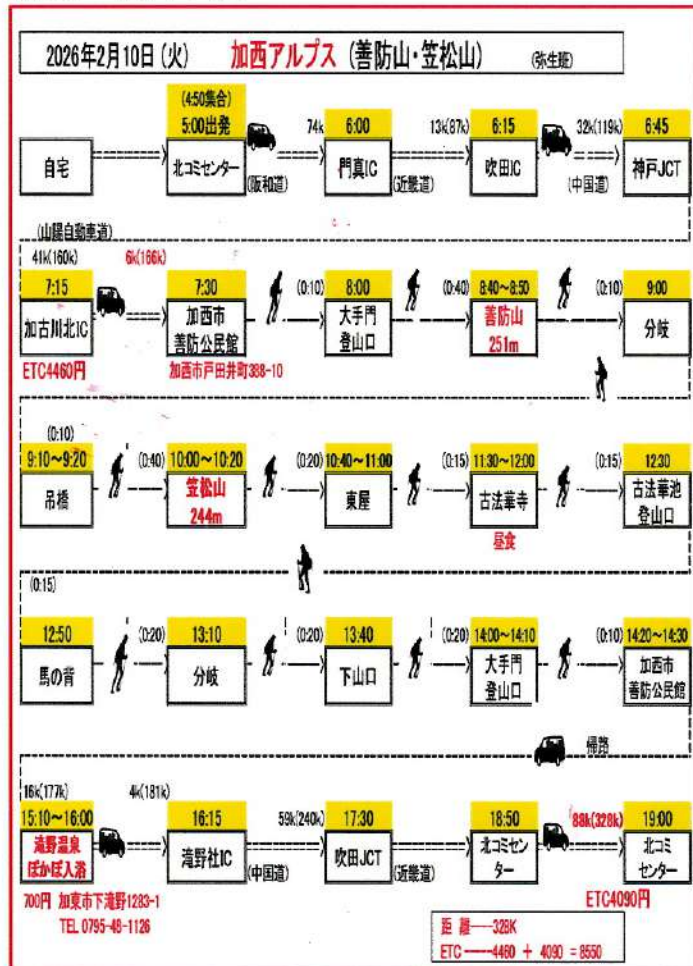
⑦(笠松山の展望台)



加西アルプス

※(山行日) ---- 2026年2月10日(火)

※(行程) [予定]



(加西アルプスのロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計6名

木村、新延、大塚、五所尾、岩見、有本

※[はじめに]

(加西アルプス)

○善防山(251m)、笠松山(244m)善防山を中心として、低山で小さな山が連なった岩陵帯。縦走コースは露出した岩の尾根や、吊り橋、鎖場など、変化のある登山道が続く。

○笠松山の頂上からは 360 度の景色が楽しめ、晴れた日には明石海峡大橋や淡路島を望むことができます。

(写真 1)

(大手門登山口)



・北コミ 5 時出発、現地の駐車場 8 時到着。
本日の行程周知の後、恒例の準備体操後、大手門登山口からスタート。

(写真 2)

(少し雪が…)



・2 日前の雪が残り、気温 - 4℃で冷たい早朝のスタート。

(写真 3)

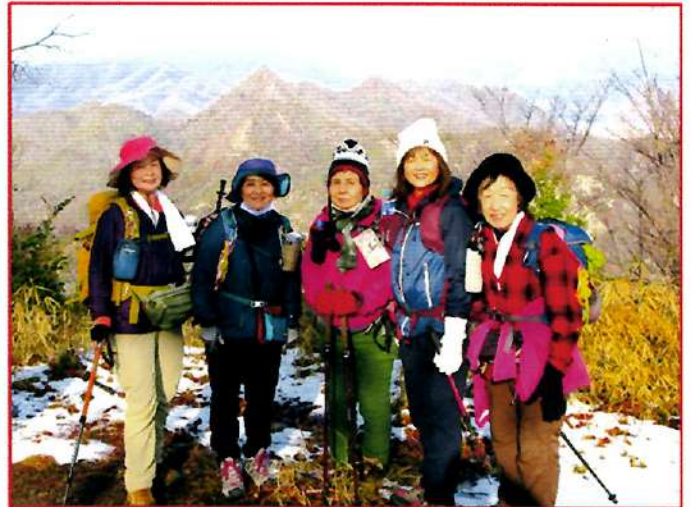
(笠松山をバックに)



・善坊山への途中、木々の隙間から遠くに笠松山が覗く。

(写真 6)

(善坊山山頂-その 2)



・雪が残り天気が良く、笠松山が近く見える。

(写真 4)

(晴天の山腹)



・日が射し寒さが消え、汗ばんできました。

(写真 7)

(善坊山山頂-その 3)



(写真 5)

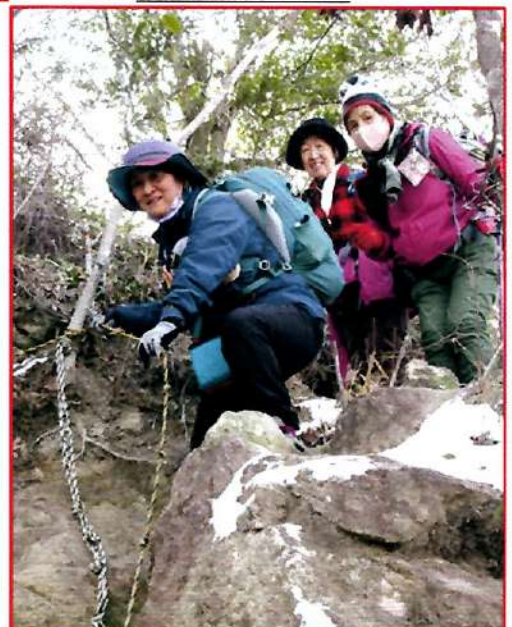
(善坊山頂上-その 1)



・ 9 時過ぎに到着。

(写真 8)

(善坊山を下山)



・ 段差のある下山道。安全にロープを使う。

(写真 9)

(吊 橋)



・ 善坊山と笠松山を繋ぐルート上の吊橋。

(写真 10)

(鎖のある岩場-その 1)



・ 吊橋の次は、急な岩場がある。

(写真 11)

(鎖のある岩場-その 2)



(写真 12)

(岩場の頂上)



・ 岩場の上につくと、更に笠松山が間近に！
岩場の後ろは、絶壁！

(写真 13)

(笠松山の展望台-その 1)



・ 10時10分、笠松山へ到着。

(写真 14)

(笠松山の展望台-その 2)



・ 360度の展望が開け、清々しい！

(写真 15) (笠松山の展望台-その 3)



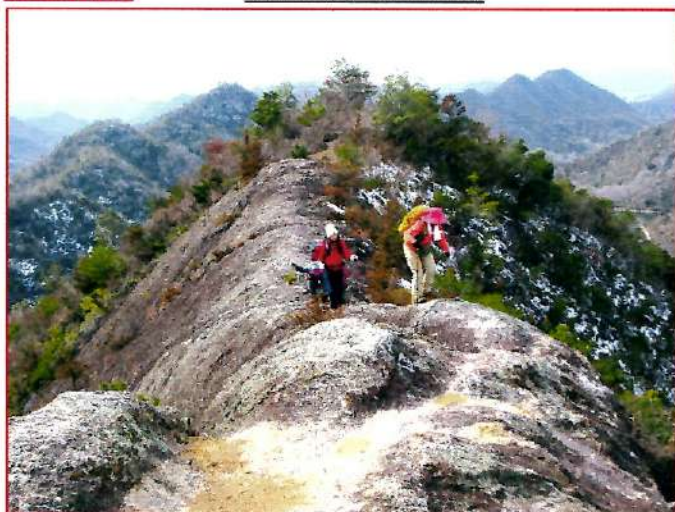
・気分は最高！

(写真 16) (笠松山を下山)

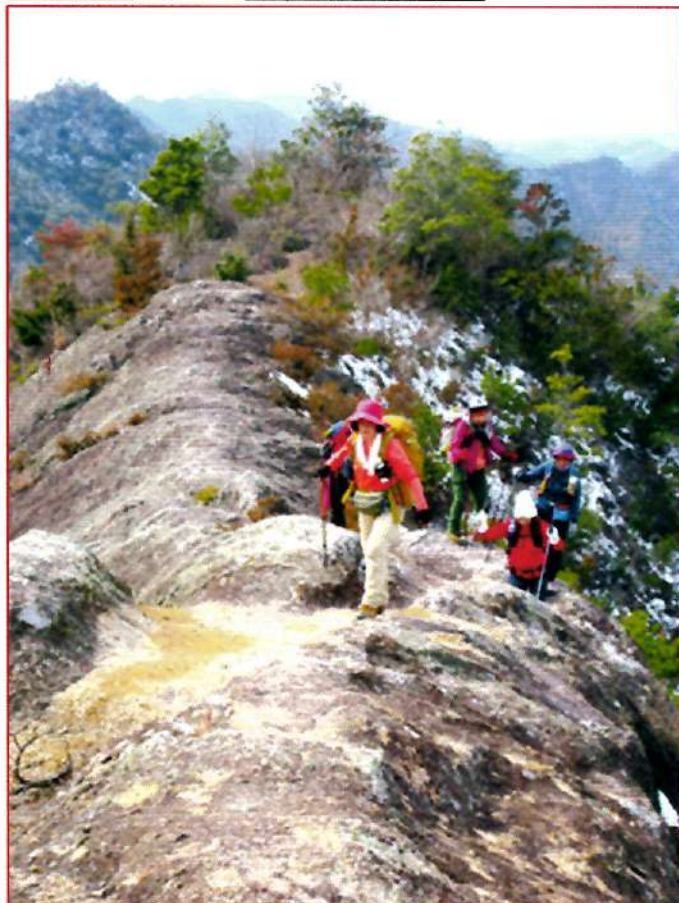


・東屋で昼食。
下山ルートは急な岩場。バックに大柳ダムと貯水池が見える。

(写真 17) (馬の背-その 1)



(写真 18) (馬の背-その 2)



・ここからは360度の展望が開け、善坊山から笠松山のループになったコースがよく見え、足跡が分り満足感がある。

※[最後に]

○当初は11名の予定であったが、体調不良等で最終的には6名の参加。前回の小野アルプスに続き、今回も3月から弥生班へ編入予定のらいちょう班2名(五所尾、岩見)も参加。2回続けての参加で、弥生班に馴染んできた様子である。

○現地出発時は、気温 - 4℃で少し雪が残る寒い早朝出発であったが、天気が良く風もないため、心地よい汗を流し山行できました。

○ルートは、岩場や鎖場、吊橋、馬の背、展望台と変化のある登山道で、善坊山、笠松山、両方の山頂からは360℃の展望が開け、地元の登山者との談笑もあり、清々しい気分を味わいました。

○帰路では滝野温泉で入浴し、色々と堪能した旅でした。